

# 第11回群馬県新型コロナウイルス感染症対策協議会

## 次 第

日時：令和3年4月26日（月）18時30分～

場所：県庁29階 第1特別会議室

### 1 開 会

### 2 挨 拶

### 3 議 題

- (1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について
- (2) 今後の感染拡大に備えた医療提供体制整備について

### 4 報告事項

- (1) 新型コロナウイルスSARS-CoV-2ゲノム配列解析について
- (2) 検査体制について
- (3) 新型コロナウイルスワクチンの接種について

### 5 その他

### 6 閉 会

## 群馬県新型コロナウイルス感染症対策協議会

### 【構成員】

No.	氏名	団体名・職名	備考
1	須藤 英仁	群馬県医師会長	座長
2	川島 崇	群馬県医師会副会長	
3	村山 利之	群馬県歯科医師会会長	
4	田尻 耕太郎	群馬県薬剤師会長	
5	西松 輝高	群馬県病院協会会長	
6	荻原 京子	群馬県看護協会会長	
7	齋藤 繁	群馬大学医学部附属病院長	
8	村上 正巳	群馬大学医学部附属病院特命副病院長	
9	中野 実	前橋赤十字病院長	
10	正田 吉一	群馬県市長会事務局長	
11	梅村 透	群馬県町村会事務局長	
12	清水 征己	群馬県消防長会長（前橋市消防局長）	
13	大西 一徳	前橋市保健所長	
14	後藤 裕一郎	高崎市保健所長	
15	武藤 幸夫	群馬県健康福祉部長	
16	矢沢 和人	群馬県保健所長会会長 （太田保健福祉事務所長）	
17	猿木 信裕	衛生環境研究所長	

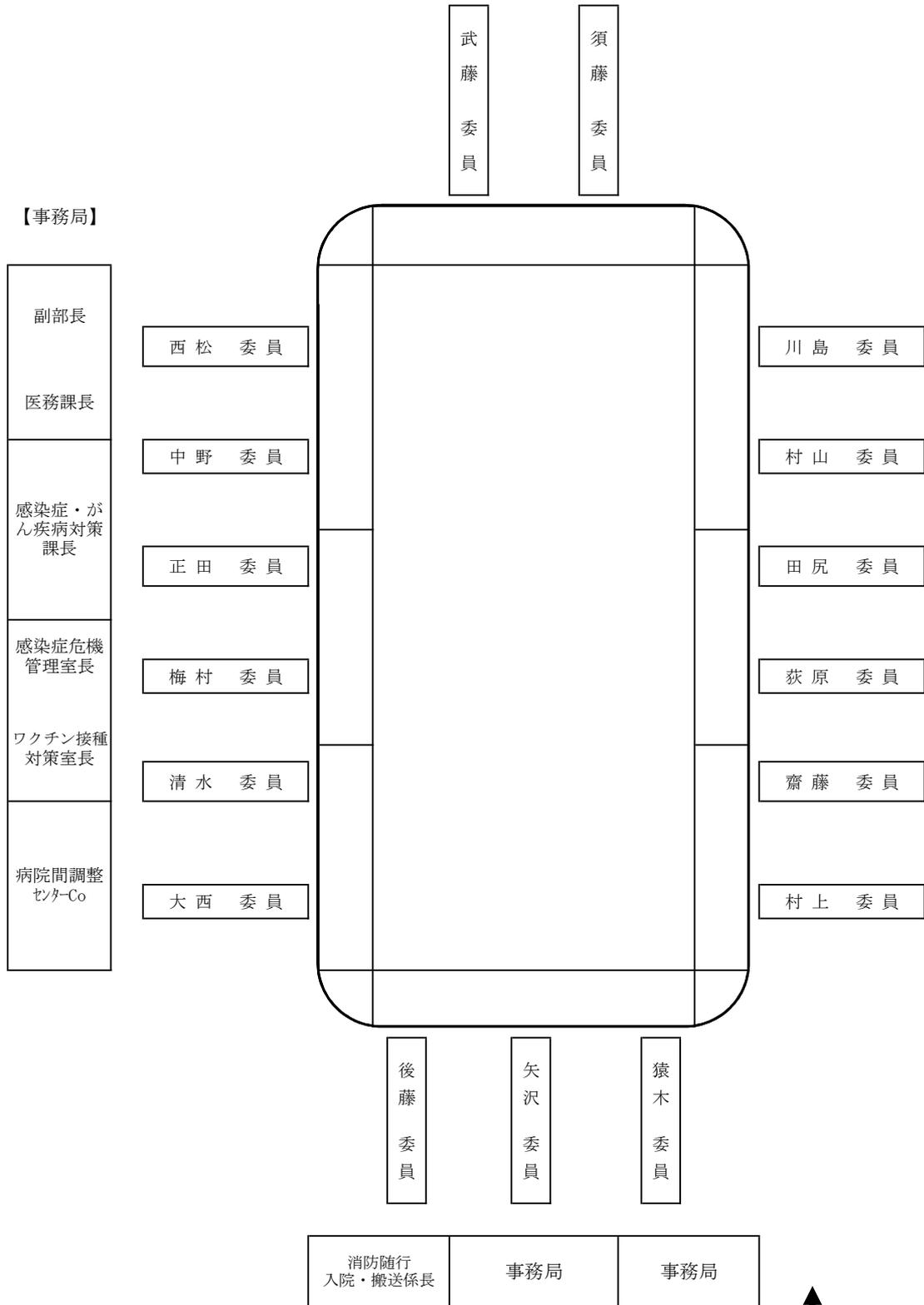
## 【事務局等】

No.	氏名	所属名・職名	備考
1	歌代 昌文	健康福祉部副部長（感染症危機管理担当）	
2	島田 和之	健康福祉部健康福祉課長	
3	宮川 清吾	健康福祉部医務課長	
4	中村 多美子	健康福祉部感染症・がん疾病対策課長	
5	佐藤 貴彦	健康福祉部感染症・がん疾病対策課 感染症危機管理室長	
6	安達 明	健康福祉部感染症・がん疾病対策課 感染症危機管理室調整主監	
7	松井 利光	健康福祉部薬務課長	
8	春山 直彦	健康福祉部薬務課 新型コロナウイルスワクチン接種対策室長	
9	中村 光伸	病院間調整センターコーディネーター	

# 群馬県新型コロナウイルス感染症対策協議会 座席表

○日時：令和3年4月26日(月)午後6時30分～

○場所：県庁29階 第1特別会議室



# 新型コロナウイルス感染症の発生状況等

## 患者の入院等の状況

	県内	県外	合計
<b>感染患者数</b>	<b>5,724</b>	<b>172</b>	<b>5,896</b>
<b>入院</b> (うち重症者)	130	1	<b>131</b> (3)
<b>宿泊療養</b>	137	1	<b>138</b>
<b>退院・退所等</b> (他県対応を含む)	5,309	168	5,477
<b>入院調整</b>	45	1	46
<b>死亡</b>	103	1	104

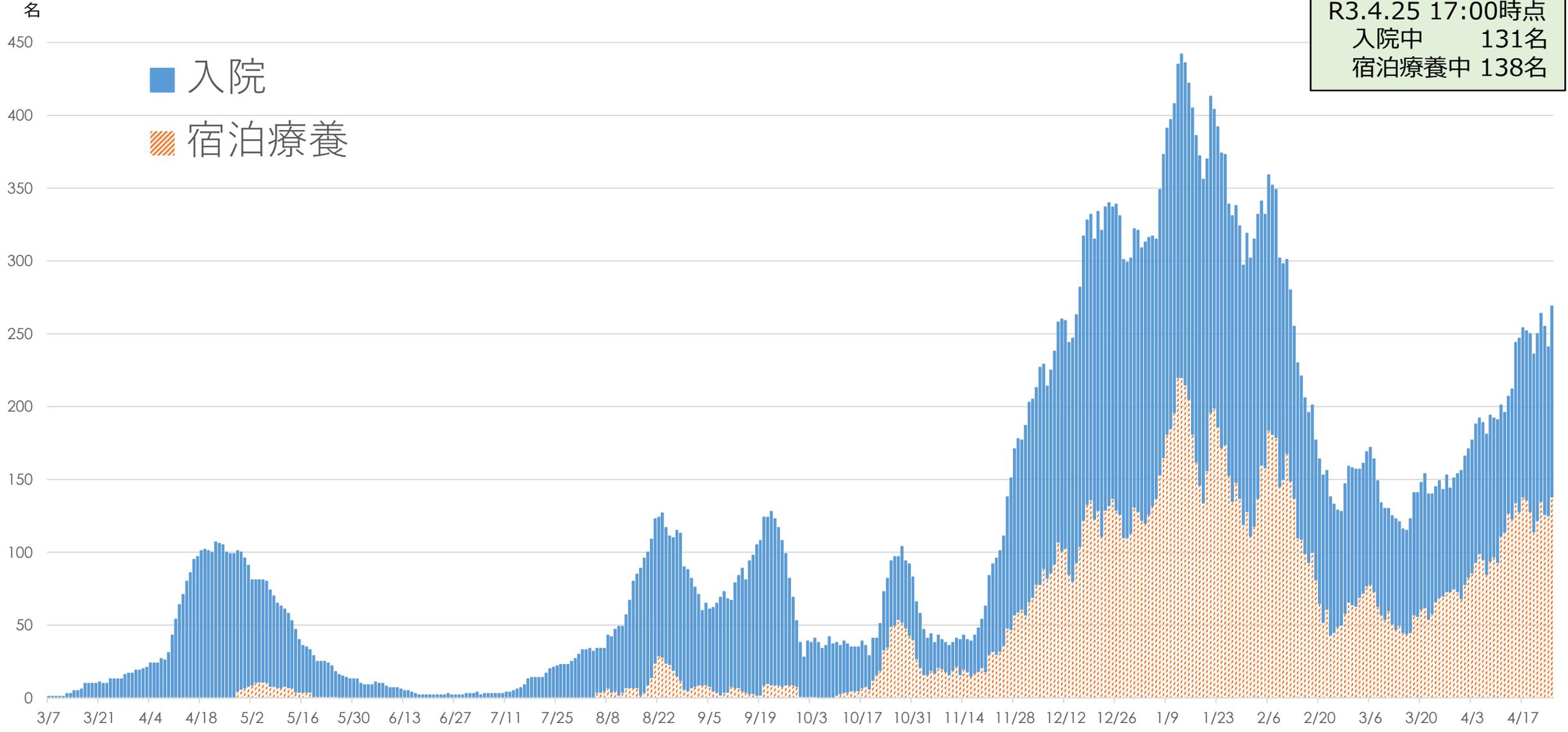
R3.4.25 17:00時点

**確保病床**

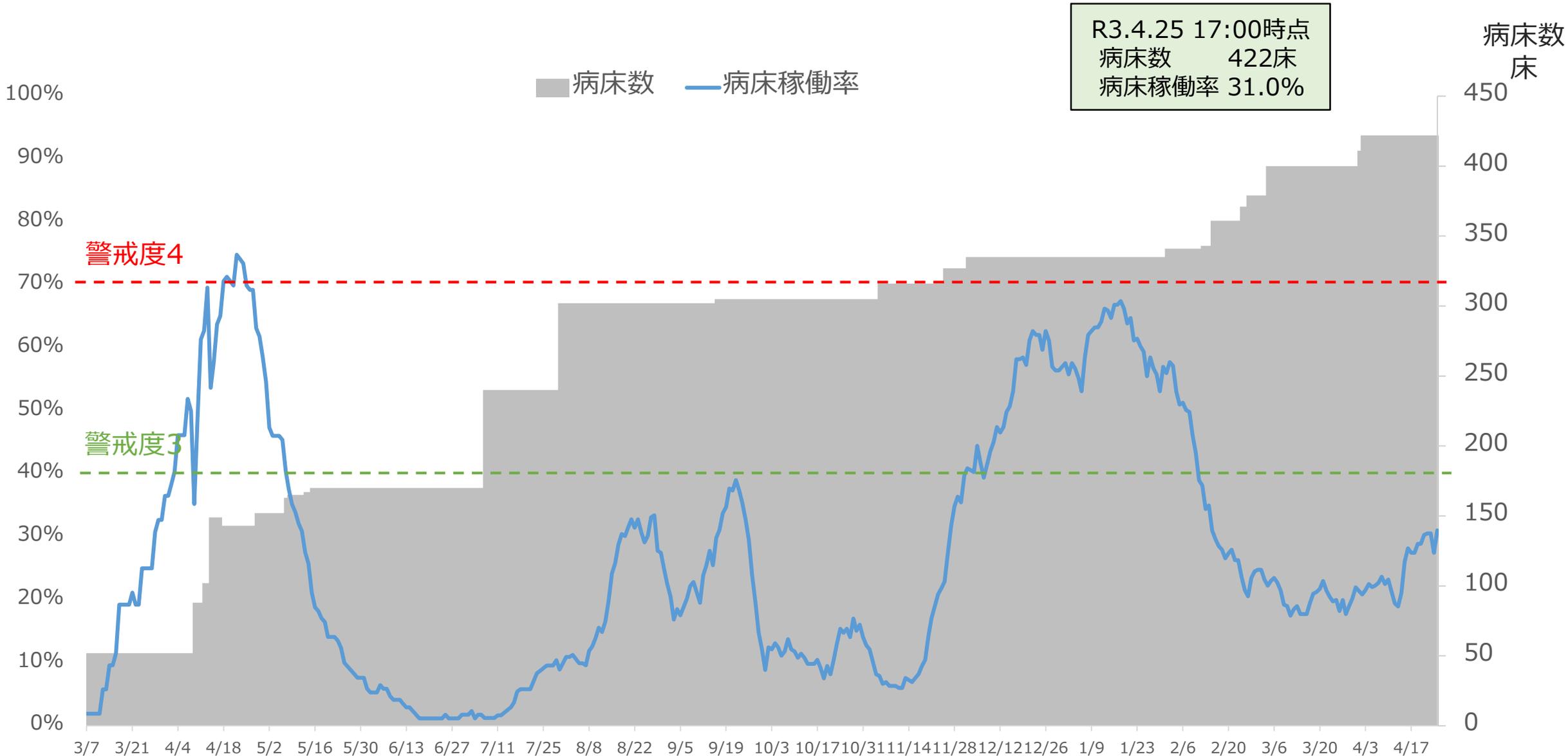
< **422**床

< **938**室

# 入院患者数等の推移

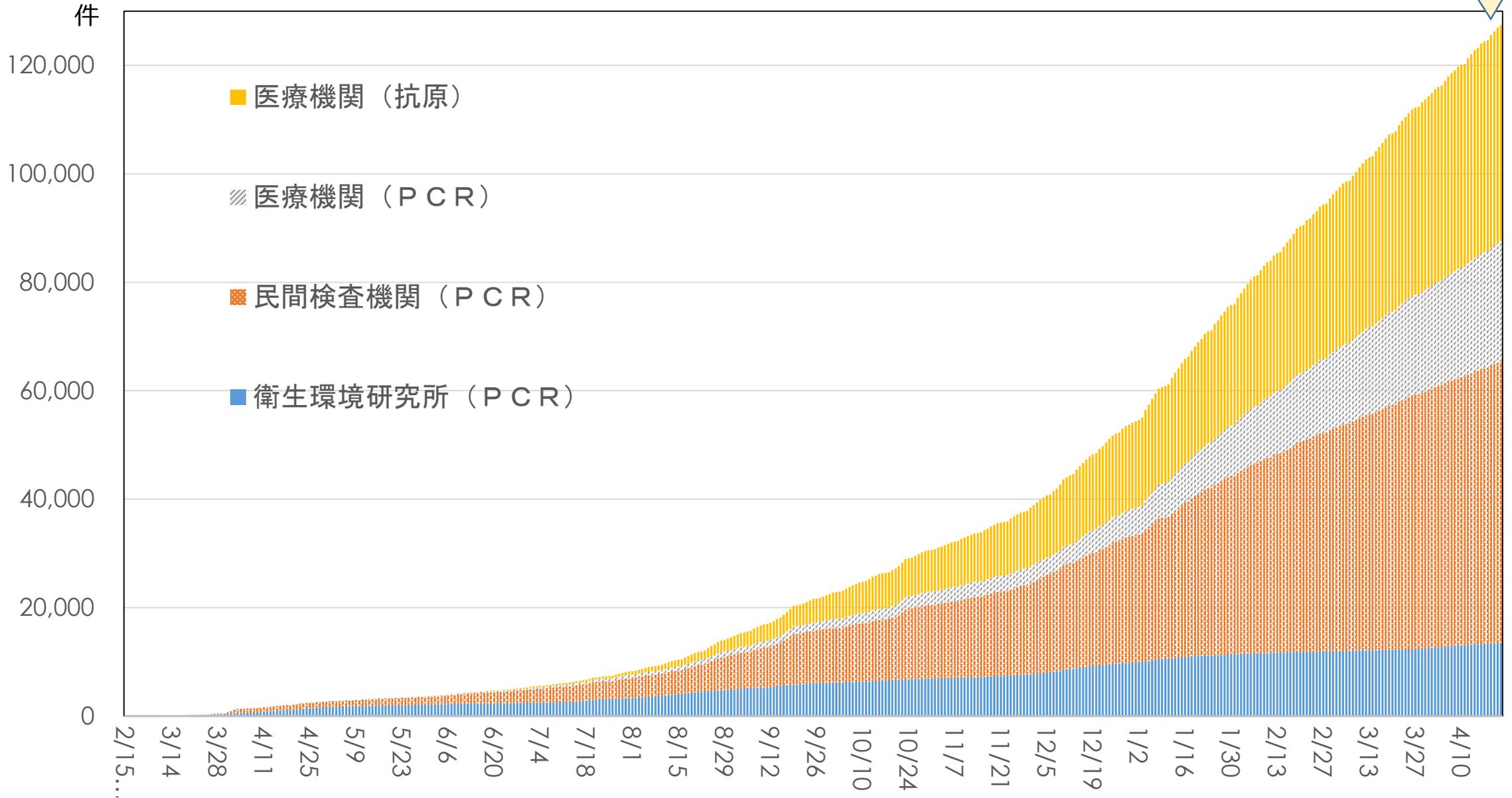


# 病床稼働率の推移



# PCR等検査数の推移

累計  
127,479件



# 今後の感染拡大に備えた新型コロナウイルス感染症の医療提供体制整備について（概要）

## 医療提供体制整備（Ⅰ章・Ⅲ章）

- ① 緊急事態宣言の解除後においても、病床・宿泊療養施設の確保に万全を期すとともに、感染拡大が短期間で急速に生じる場合もあり得ることから、**感染者数の大幅増（例えば今冬の1日当たり最大感染者数の2倍程度）を想定した緊急的な患者対応を行う方針・体制**を早急に検討し、**②の中間報告と併せて、4月中に報告**。

※ なお、上記体制は**一般医療を相当程度制限**せざるを得ないものであり、**時限の緊急避難的な対応**であることに**留意**する必要がある。

<検討事項> ※例えば1日当たり最大新規感染者数が2倍程度になったときの最大療養者（入院、宿泊療養、自宅療養の患者）を、国が示した方法に基づき算出した上で検討。

### 1. 患者の療養先の確保

- ・ 予定入院・手術の延期等緊急的な病床確保方策の策定
- ・ 健康管理を強化した宿泊療養施設の稼働
- ・ 自宅等で療養とならざるを得ない方への健康観察体制の確保（パルスオキシメーターの活用、往診・オンライン診療・訪問看護等による地域の医療機関での健康観察・健康管理）等

### 2. 患者の入院・療養調整の体制確保

- ・ 保健所・都道府県調整本部における入院・療養調整業務に係る**応援体制の整備**等
- ・ 入院・療養調整の**業務フローの見直し**（入院・療養先調整を調整本部で一括実施、調整本部の体制強化等）

- ② これまでの取組に加え、地域で一般医療との両立も含めたコロナ医療について改めて具体的に協議・合意し、**患者受入が実際に可能な病床を最大限確保**。その際、昨夏の療養者数の推計を基本としつつ、**現在の確保病床以上で見直す**こととし、医療機関間の役割分担の徹底、医療従事者確保、後方支援病院確保などにより、**実効性のある病床を最大限積み上げ、5月中**に病床・宿泊療養施設計画を見直し。

## 医療提供体制整備後の運用（Ⅱ章）

- **一連の患者対応の状況や一般医療への影響度合い**に関する確認項目を国が示し、これに基づき、各都道府県が、状況を**確認し改善できる体制を構築**。（療養先調整中人数、後方支援医療機関への待機件数等により患者フローの目詰まりの状況、救急搬送困難事案件数やICUの使用率等により一般医療への影響度合いを確認。）
- 新規感染者数の増加傾向が2週間継続した場合の**モニタリング**を行い、感染防止対策に反映。  
②で最大限積み上げた病床を超える場合や、短期間で急激な感染拡大が生じた場合には①の**緊急的な患者対応を行う体制に切り替え**。（強力な感染防止対策が必要）

## 【基本的な考え方】

「緊急事態宣言解除後の新型コロナウイルス感染症への対応」（令和3年3月18日新型コロナウイルス感染症対策本部決定）において、「次の感染拡大に備え、高齢者施設の従事者等に対し積極的に検査を実施できる体制を整備するとともに、過去最大規模の新規感染者数が生じた場合も十分に検査ができるよう、国及び自治体の連携のもと、概ね4月中を目途に検査体制整備計画を見直す」とされた。これを踏まえ、国が指針を示し、都道府県において検査体制整備計画を見直し、これに応じた検査体制を整備する。

## 【検査需要の把握】

### (1) 今後の感染拡大に備えた検査需要（変異株対応分を含む。）

- ① 過去最大時の1日当たり検査需要に加え、各地域の変異株対応の検査の実施状況等を踏まえて変異株対応の需要を見込む。（変異株対応の需要を見込むことが困難な場合は、例えば、「過去最大時の1日当たり検査需要」の1割程度など必要と思われる需要を見込む。）
- ② さらに、過去に経験したことのない感染状況の悪化に備え、緊急的に検査体制を拡充する必要がある場合（例えば、過去の1日当たり新規感染者数の2倍程度の新規感染者が発生し、上記①の需要が2倍となる場合）を各自治体において具体的に想定し、その際の検査需要を見込む。

### (2) 高齢者施設等における検査需要

- ① 4～6月に集中検査計画を策定・実施する地方公共団体は、当該検査需要を盛り込む。
- ② 併せて、昨冬に、2週間程度にわたり、人口10万人当たりの1週間の新規感染者数が15人以上に該当した地域は、感染状況に応じた集中的な定期検査に備えて必要と見込まれる検査需要を盛り込む。

## 【検査体制の整備】

- 上記の検査需要に対応できるよう、民間検査機関も積極的に活用しつつ、以下の検査能力を確保。
  - ・ 検体採取体制については、引き続き、地域の医療機関や診療・検査医療機関の体制を維持することを原則とし、地域の役割に応じた地域外来・検査センターでの体制も確保。加えて、高齢者施設等における集中検査の検体採取についても見込む。
  - ・ 検査（分析）体制については、PCR検査、抗原定量検査及び抗原定性検査の特性を踏まえつつ、これらの検査方法の適切な組み合わせにより、迅速で効率的な検査体制を構築。
- ※ 今後の感染状況の変化等にも対応できるよう、更に上記(1)及び(2)の1割程度の検査需要に対応できる能力を確保。

# 新型コロナウイルスワクチンの接種について

R3.4.26 健康福祉部薬務課  
新型コロナウイルスワクチン  
接種対策室

## 1 ファイザー製ワクチンの供給状況

【医療従事者優先接種分(先行接種を除く)】

○5月第3週までに累計供給量は69,420人分となり、医療従事者等6.8万人全てが2回接種可能な量の供給が完了する見込み。

【高齢者優先接種分】

○5月第3週以降の供給分から、1バイアル当たり6回接種可能な注射器等が配布されることとなり、高齢者向けワクチンの累計接種可能数が209,137人分に増加(高齢者58万人の約36%に相当)。

※人口按分での試算であり、市町村の需要に応じて変動

## 2 県内接種実績

【医療従事者優先接種分】

合計43,988回(4/25まで) 【進捗率31.9%】

【高齢者優先接種分】

合計 2,422回(4/25まで)

## 3 ぐんまコロナワクチンダイヤルの相談実績

市町村の一般相談窓口では対応できない専門的な相談内容に対応

- ・昼間6回線・夜間2回線
- ・看護師が24時間対応
- ・外国語は19カ国語に対応

【相談内容別の件数内訳】 3/1～4/25実績

合計	副反応に係る相談	有効性・安全性等に係る相談	医療機関等からの問い合わせ	一般相談	行政への意見	その他
1,350	23	108	11	725	0	483

【主な相談内容】

- ・ワクチンの副反応に関する問合せ
- ・体質や疾患等による接種適否の相談
- ・届いた接種券に関する問合せ 等

## 4 市町村における新型コロナワクチン高齢者接種計画

県内各市町村における高齢者接種計画について、とりまとめた。今後、県内55箇所で集団接種が、約800の医療機関で個別接種が行われ、併せて各高齢者施設での施設接種が進められる予定。

